

# 市民の会が開く シンポジウム

日時：平成20年9月6日(土)  
13:30~17:00  
会場：全日通霞ヶ関ビルディング  
千代田区霞ヶ関3-3-3  
Tel 03-3581-2261(代)  
地下鉄銀座線「虎ノ門」より5分  
地下鉄日比谷、千代田、丸の内線「霞ヶ関」より8分  
参加費：無料(募金をいたします)  
定員：200名(事前登録優先)



●17:30~交流会 先着50名まで  
会費：4,000円  
場所：願和園(いわえん)霞ヶ関店  
東京倶楽部ビルディング 霞ダイニング 3階

主催：  
医療の良心を守る市民の会  
(問い合わせ先&事前登録先)  
E-mail; liaison\_office@yahoo.co.jp  
Fax; 047(380)9806  
〒124-0012 葛飾区立石5-2-2-802  
清水方  
後援：  
特定非営利活動法人 患者のための医療ネット  
患者の視点で医療安全を考える連絡協議会準備会

# 医療の良心を守る市民の会

<http://ryousin.web.fc2.com/>

ほんとうのことを知るのが、なぜ難しい?

## 患者と医療者が

## 手をつなぐためにすべきこと

テーマ

「中立公正な医療事故調査機関の早期設立を望む」

—臨時国会での法制化を目指すために—

医療事故調査機関に関する検討が進み第3次試案が提示され、このたび医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案が示された。3月15日「医療事故調査機関の早期設立を望む」をテーマに緊急シンポジウムを開催したが、国会での法制化の検討がようやく近づいてくる時期に、さらなるシンポジウムを開催し、一般市民のみなさんご支援・ご協力を得て、「医療事故調査機関の設立」が早く実現するよう訴える。

## シンポジスト

安福謙二氏(弁護士)	木下正一郎氏(弁護士)
鈴木寛氏(参議院議員)	佐原康之氏(厚労省)
古川俊治氏(参議院議員)	渡邊清高氏(医師)
	永井裕之(事故被害者遺族)

## コーディネーター

岩岡秀明氏(医師)、埴岡健一氏(特任准教授)

愛する人が  
なぜ死んだのか、  
わからないの?

医療裁判には、  
限界があるの?

患者に  
本当のことが  
言えなくなってしまうの?

このままでは  
患者と医療者が  
歩み寄れない?

患者のためを思って行動した良心的な医療従事者を  
私たちは守り、物心両面で支えます

「中立公正な医療事故調査機関の早期設立を望む」—臨時国会での法制化を目指すために—

<http://ryousin.web.fc2.com/10.html>

日時：平成20年9月6日（土）13：30～17：00

【会場】：全日通霞ヶ関ビルディング 千代田区霞ヶ関3-3-3 Tel 03-3581-2261（代）

地図（mapfan）<http://www.mapfan.com/index.cgi?MAP=E139.45.0.6N35.40.8.9&ZM=9>

東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」徒歩5分（出口5番）千代田線・日比谷線「霞ヶ関駅」徒歩5分（出口A13番）。

参加費：無料（募金をさせていただきます） 定員：200名（事前登録優先）

（問い合わせ先&事前登録先）E-mail: [liaison\\_office@yahoogroups.jp](mailto:liaison_office@yahoogroups.jp) Fax: 047（380）9806

〒124-0012 葛飾区立石5-2-2-802 清水方

### —シンポジウム・プログラム—

13：00 開場

【第1部】 13：30～ 開会の挨拶 \*舩添厚生労働大臣からのメッセージの紹介

13：40～ シンポジウム コーディネーター 岩岡秀明 氏、埴岡健一 氏

13:45～14:00 佐原 康之 氏：医療安全のための事故調査制度を目指して

14:00～14:15 古川 俊治 氏：「医療安全調査委員会設置法」案に関する一考察

14:15～14:30 鈴木 寛 氏：医療の再建をめざして

14:30～14:40 木下 正一郎氏：大綱案・第三次試案と民主党案との相違点

14:40～14:55 安福 謙二 氏：大野病院事件に見た事故調査委員会 一事故調査委員会に求められるもの—

14:55～15:10 渡邊 清高 氏：これからの医療に事故調の議論を生かすには

15:10～15:25 永井 裕之 氏：医療事故被害者が望む医療事故調査

15：25～15：45 休憩： 質問用紙を回収します。募金も宜しくお願いします。

【第2部】 15：45～ディスカッション

～フロアとの質疑応答・意見交換など～

16：55～ 閉会の挨拶

17：00 会場整理など

●17：30～ 交流会 場所：願和園（いわえん）霞ヶ関店（先着50名様まで）

（東京倶楽部ビルディング 霞ダイニング 3階：本会場から道路を挟んで右向かいビル）

霞ヶ関3丁目-2-6（03-3501-3222）

【主催】：医療の良心を守る市民の会 <http://ryousin.web.fc2.com/index.html>

（問い合わせ先&事前登録先）E-mail: [liaison\\_office@yahoogroups.jp](mailto:liaison_office@yahoogroups.jp) Fax: 047（380）9806

〒124-0012 葛飾区立石5-2-2-802 清水方

後援：特定非営利活動法人 患者のための医療ネット 患者の視点で医療安全を考える連絡協議会準備

# 医療の良心を守る市民の会

<http://ryousin.web.fc2.com/>

## <設立趣旨>

- 1、愛する人がなぜ死んだのか知りたい、という家族の思いが叶わない
- 2、医療者同士でさえも素直に話し合えない、患者に本当のことが言えない
- 3、医療裁判での解決・真相究明には、限界がある  
という患者と医療者が歩み寄れない医療を取り巻く現実の中で、患者と医療者を、ともに守り育て支えるために、
  - ①現状改善するための活動
  - ②医療者と患者の架け橋となる活動
  - ③患者のためを思って行動する良心的な医療従事者を支援する活動を、市民の手によって行うことを目的とする。

## <活動内容>

- ・ シンポジウム・セミナーなどの開催（地方を含む）
- ・ 個別支援活動プロジェクト
- ・ 地方活動支援プロジェクト
- ・ 患者・被害者からの情報収集プロジェクト
- ・ 医療者からの情報収集プロジェクト
- ・ 社会への情報発信のためのホームページ運営

## <活動参加者の条件>

- ・ 対するものへの優しさと思いやり、敬意を忘れない。
- ・ 会の活動及び参加者に不利益を生じさせる言動を行わない。
- ・ 社会及び参加者間での争議紛争を引き起こす言動をしない。
- ・ 会、及び参加者情報の持ち出しをしない。
- ・ あらゆる違法行為を禁止する。
- ・ 参加の条件に当てはまらない行為をした場合は退会・除名とします。
- ・ 市民の会は参加支援者への特別のサービスを提供するものではありません。

**会費（活動支援のための参加支援分担金）：年度一口3千円。（学生会員は2千円）**  
年度を4月から翌年3月までとする。（会費は一定とし、年度内の入会時期は問わない）  
郵便振替口座 番号：00160-7-408622 名称：医療の良心を守る市民の会  
（ご寄付も受け付けています。よろしくおねがいたします。）

## <会の活動運営責任者>

代表 永井 裕之 副代表 清水 陽一 事務局長 豊田 郁子

## <連絡先> E-mail: [liaison\\_office@yahoogroups.jp](mailto:liaison_office@yahoogroups.jp)

〒124-0012 葛飾区立石 5-2-2-802 清水方 「医療の良心を守る市民の会」

FAX: 047-380-9806

以上